



農家の皆さまと京都市中央卸売市場第一市場(京都市中央市場)をつなぐ情報誌「いちばのkoto通信」。京都市中央市場の魅力やお役立ち情報など、皆さまの気になる事をお届けします!

朝の市場は 情報の宝庫!



他者が出荷された農産物を見たり、卸担当者との交流により、買い手が求める商品等の情報収集ができました。

安田

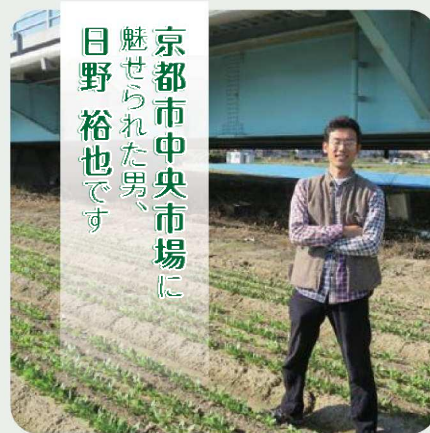
個人出荷者にとって、他者の農産物は大変参考になると思います。全量を委託販売できるので、安心して農産物の生産に専念できます。

日野

京都市中央市場に出荷される農産物は高品質です。その中で自分の商品がどこまで通用するのか勝負したいと思ったのが大きなきっかけです。

安田

就農当初は、直売所や料理屋、市場等へ出荷していたとのことですが、全量を市場出荷するに至った経緯は?



京都市中央市場に
魅せられた男、
日野裕也です

日野 裕也さん(30歳)《西京区 桂》
島根県の農業法人で研修後、京都に帰郷し就農。現在、なすとほうれん草を主軸に栽培し、全量を京都市中央市場に出荷。

今回は、卸売会社 京都青果合同(株)の安田さんと一緒に、全量を市場出荷される新規就農者、日野さんのほ場を訪問し、お話を伺いました。

日野

それに加えて、新規就農者は、何かと出費が多くなるので、代金の支払が最短4営業日であることや、出荷用コンテナの貸出があるのは大変ありがたかったです。

また、先輩農業者のアドバイスを受けて早朝の近郷卸売場を見学したことで、市場出荷へのハードルが下がり、生産に対する意欲は高まりました。

今後、京果の皆さんと連携しながら、将来的には、生産のプロとして地域の若手農業者の見本となるよう頑張ります。



日々出荷いただいた農産物の品質等を
確認し、その結果を出荷者の皆さまに
お伝えすることで、今後の生産に役立
ていただけるよう努めています。

京果 近郷担当
安田さん

毎日市場へ出荷し、卸・仲卸の皆さん
から信用を得ることが大切。品質だけ
でなく、安定して出荷することが評価
に繋がると実感しました。

新規就農者・若手後継者向け市場見学会・意見交換会 開催

- ① 日時 平成30年2月20日(火)午前6時から(2時間程度)
- ② 場所 京都市中央卸売市場第一市場 近郷卸売場
- ③ 内容(予定) ●せり見学 ●市場出荷の方法等の説明 ほか
- ④ 対象者 新規就農者及び若手後継者
- ⑤ 募集人数 20名(申込み多数の場合は抽選)
- ⑥ 申込方法 氏名(団体の場合は団体名)、年齢、連絡先、人数を電話又はFAXにて右記へ御連絡ください。

日野さんも
来るよ

<申込先>
京都市中央卸売市場第一市場
業務グループ
電話 (075)312-6564
FAX (075)311-6970
<申込期限>
平成30年2月9日(金)

～農家の皆さまに役立つ～ 卸売市場の役割

卸売市場は、生産者・消費者ともに安心して生鮮食料品を出荷・購入するための開かれた施設で、食の豊かさを守る“社会的なインフラ”です。流通が多様化している現在でも、国産農産物のうち、約85%は卸売市場を経由しており、卸売市場の流通システムに代わり得るものではありません。

ここでは、農家の皆さまに役立つ卸売市場の役割についてご紹介します。

卸売市場は…

- ① 生産量の多寡にかかわらず出荷できます！
→全量販売のため、売れ残りの心配がありません
- ② プロの目利きにより、適正な価格形成が行われます！
→卸売業者は、生産者の立場で取引します
- ③ 迅速で確実な代金決済システムが確立しています！
→生産者の資金繰りを助け、経営安定に寄与します
- ④ 小売・消費者のニーズを知ることができます！
→卸売業者や他の出荷者と情報交換もできます

生産者は…

安心して生産・出荷に専念できます!!



※せり売り:多数の仲卸業者が競争することで価格を定める方法、相対売り:卸売業者と仲卸業者の協議によって、価格等を定める方法

出荷者大募集

あなたの農産物を全国へ発信しませんか？

市場出荷すると…

- POINT! 高品質なものほど高値で取引されるなど、努力の結果が目に見えやすい!
- POINT! 京都市内はもちろん、日本全国や外国にまで届く!



京果による出前トーク 実施!

〈出荷組合や農協等の団体対象〉

出荷方法が分からないので教えて

一度、卸売会社の話を聞いてみたい

新たに出荷を考えている方の要望や相談事にお応えいたします
ぜひご連絡ください!

「市場出荷を検討しているけど、現場も見てみたい」

そんな方は是非一度見学に来てください!



出荷・出前トークのお問合せ先
京果 近郷部 (担当:磯部・安田)
TEL (075) 315-8227